



## 学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました

12月に実施したアンケートの結果をお知らせします。回収率は70%でした。お忙しい中、回答へのご協力ありがとうございました。結果をふまえた学校としての考察・対応策については、裏面に載せましたのでご覧ください。自由記述に関するものの中で全体に関するご意見は次号で回答させていただきます。

## 学校評価アンケート結果

■あてはまる ■少しあてはまる ■少しあてはまらない ■あてはまらない ■分からない

学校は基礎・基本の定着を図るような学習指導を行っていますが、お子さんの学力は向上していますか。



学校はGIGA端末を活用した授業や、課題設定や協働場面の設定の工夫をした学習活動を展開していますが、お学校では読書を推進していますが、お子さんは読書に興味をもっていますか。



学校は進路や職業（キャリア教育）などについて、お子さんに合った指導を行っていると思いますか。



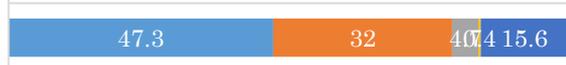
学校では部活動や登下校時のあいさつなどを通してあいさつの推奨をしていますが、生徒はあいさつができていますか。学校はいじめをなくすため、道徳の時間等をとおして様々な指導を行っていますが、その効果は表れていると思いますか。



学校は、ルールや規範意識を身に付けさせるために指導していますが、その効果は表れていると思いますか。



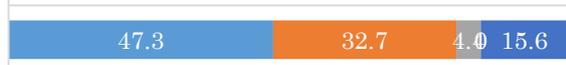
学校では教師と生徒と一緒に取り組む毎日の清掃活動に力を入れています。学校はいつも清掃が行き届いていると思いますか。学校は、部活動運営方針に従い、生徒が意欲的に部活動に参加できるようにしていると思いますか。



学校は、スポーツフェスティバルをはじめとする学年行事などに、生徒が主体的に取り組めるようにしていると思いますか。学校は事故防止のため、交通指導など生徒の健康や安全に留意した指導を行っていると思いますか。



学校では施設・設備の整備を適切に行い、安全な環境が保たれていると思いますか。



学校は学校だよりやホームページ、学級だよりなどで学校の様子を家庭にお知らせしていますが、学校生活の様子…



学校は、行事など様々な教育活動の様子を発信し、保護者や地域の人たちと話し合う機会を多く設けていると思いますか。



学校は、小中合同の教育活動や教職員の研修等で小中一貫教育を進めていますが、小中の連携は教育活動に効果が表…



学校ではPTA活動が活発に行われていると思いますか。



学校は緊急時（地震や台風や不審者など）にどのように対応すればいいか、わかりやすく連絡・指導していると思いますか。教職員はお子さんの学力や学習の様子を適切に評価していると思いますか。



教職員は親切で気軽に相談しやすいと思いますか。



◎肯定的回答が65%に満たない項目について記載しました。

- 1 「学校は基礎・基本の定着を図るような学習指導を行っていますが、お子さんの学力は向上していますか。」(肯定的回答 57.4% 昨年度-6.6%)

学校では、学力向上を重要課題の一つと考え、本年度から導入された GIGA スクール端末の活用や教師の授業力の向上につながるよう定期的に授業研究を実践してきました。

また、本年度も昨年度に引き続き9月には新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休校がありましたが本校は GIGA スクール端末を活用し、リモート授業やハイブリッド型の授業を実施してきました。今後も、生徒たちの知的好奇心を高められる発問や課題等について研修し授業改善に努めて参ります。

また、文部科学省が推奨する「オンライン学習システム (MEXCBT)」などにも積極的に参加していく予定です。

- 4 「学校では進路や職業 (キャリア教育) などについて、お子さんにあった指導を行っていますか。」(46.9%昨年度-5.1%)

今年度も昨年同様、コロナ禍の中での教育活動となり、本来8年生で実施予定であった職場体験学習など、一部の体験的な学習が実施できませんでした。今後も感染症への予防対策から従来の教育活動が再開できる見通しは立てづらい状況ですが、キャリア教育の中心となる考え方である生徒の将来の社会参画、「働くこと」への理解を獲得できるよう、工夫した教育活動行って参ります。学級活動や総合的な学習の時間で進路について考えるほか、特別活動 (生徒会活動、委員会活動、係活動、当番活動等) など、あらゆる学校生活の場面で、働くことの意義を体験しながら学んでいく機会を設けていきます。

- 6 「学校はいじめをなくすため、道徳の時間等を通して様々な指導を行っていますが、その効果は表れていると思いますか。」(63.6% 昨年度+4.6%)

本校ではすべての教職員が『学校いじめ防止基本方針』に明記されている「いじめの定義」をきちんと踏まえて指導にあたるとともに、毎月の生活アンケートを実施し、いじめの早期発見に努めております。

また、いじめの未然防止のためには生徒同士のよりよい人間関係の醸成が必要との考えから、2月より生徒会を中心にピアサポートプログラムへの取組を検討しております。こちらは筑波大学の庄司研究室のサポートを受けながら、様々なプログラムをとおして、自己肯定感の涵養をおこなっていきます。

保護者の皆様におかれましては、教育相談や面談の機会だけでなく、気になることがございましたらいつでも結構ですので相談ください。

- 14 「学校は、行事など様々な教育活動の様子を発信し、保護者や地域の人たちと話し合う機会を多く設けていると思いますか。」(51.2% 昨年度±0%)

保護者や地域の皆様への教育活動の発信につきましても、従来実施していた授業参観をはじめとする保護者の皆様をお招きしての学校行事が、新型コロナウイルス感染症予防対応のために十分に行うことができませんでした。

その分、今年度は学校 HP での更新回数を大幅に増やし、教育活動の発信を行ってきました。今後は、スマートフォン向けのアプリ「スクリレ」を導入し、各種便りをカラーで配信することで学校での活動を知っていただくとともに、感染症の状況を見極めながら学校行事を行っていきたく思います。

- 15 学校は、小中合同の教育活動や教職員の研修等で小中一貫教育を進めていますが、小中の連携は教育活動に効果が表れていると思いますか。(31.7% 昨年度-18.3%)

小中一貫教育に関しましてもコロナ禍で学校間の交流に制限がある中、リモートあいさつ運動など ICT を用いて実施してきました。今後は、総合的な学習の時間のカリキュラムを見直し、系統性を高めることで交流ベースに頼りすぎない、カリキュラムの工夫による9年間を貫いた教育を行っていきます。

- 16 学校は P T A 活動が活発に行われていると思いますか。(44.4% 昨年度-6.6%)

今年度はコロナ禍で多くの行事や取り組みが中止となってしまいましたが、本部役員の方をはじめ P T A 会員の皆様と協議しながら、安全を確保した上で P T A 活動が活発に行われていけるよう協力していきます。